

地域密着型特別養護老人ホームマザーアースサテライト運営推進会議 報告書				
事業所名	地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト			
事業所区分	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護			
所在地	ふじみ野市大井730-12			
開催日時	令和 8年 2月19日(木) 15:00～			
開催場所	マザーアースサテライト 会議室			
出席者内訳	氏名	分野	備考(所属等)	出席者
	近藤 素子 様	(1)入居者の家族		○
	奥平 修一 様	(2)地域住民の代表		○
	塩野 貴一 様	(2)地域住民の代表	民生委員	○
	村田 和也 様	(4)当該サービスにおいて知見を有する者	福祉事業関係者	○
	滝澤 諒太 様	市役所代表	高齢福祉課	○
	野溝 守		理事長・統轄施設長	○
	高倉 愛		施設管理者	○
	池ノ内 裕一		施設副管理者	○
議 題	1. 1月・2月運営・現況報告について 2. 委員会活動について			
	3. 今後の活動、その他について			
	4. 質疑応答			
4. 地域密着型介護老人福祉施設の運営・現況の報告	2月19日現在 入所者 29名 (男性4名 , 女性25名)			
	入院者 0名 / 入所待機者 31名 最高年齢 (男性)90歳 (女性)97歳 最少年齢 (男性)75歳 (女性)79歳 平均年齢 (男性)84歳 (女性)88歳 全体 87.3歳 平均介護度 3.9(要介護3 12名、 要介護4 6名、 要介護5 11名)			
	・退所者 2名 (内1名 施設看取り介護実施)			
	・新規入所者 2名			
	活動内容			
	1/1～3 お正月行事			
	1/4 おやつ作り			
	1/6 美容の日			
	1/7 高山歯科医院訪問歯科栄養会議			
	1/8 栄養会議 / 虐待防止委員会			

- 1/9 内科回診
- 1/11 身体拘束廃止のための研修
- 1/13 看取り介護研修
- 1/14 高山歯科医院訪問歯科内科回診
- 1/16 内科回診 / 口腔委員会 / 看取りについての会議
- 1/18 ユニットリーダー会議 / 安全対策・身体拘束適正化委員会
- 1/19 ~ 21 上福岡高等看護学院 老年看護学実習
- 1/21 高山歯科医院訪問歯科内科回診・職員会議・入所検討委員会
- 1/23 内科回診
- 1/26 褥瘡予防委員会
- 1/27 東入間歯科衛生士会訪問歯科
- 1/29 防災委員会 / レクリエーション委員会
- 1/30 内科回診 / 美容
- 2/2 節分行事 恵方巻作り
- 2/3 美容の日
- 2/4 高山歯科医院訪問歯科
- 2/6 内科回診 / 褥瘡予防委員会
- 2/10 栄養会議
- 2/12 虐待防止委員会
- 2/13 感染症委員会
- 2/16 安全対策・身体拘束適正化委員会
- 2/17 レクリエーション委員会
- 2/18 高山歯科医院訪問歯科 / 入所検討委員会 職員会議
- 2/19 運営推進会議
- 2/20 安全衛生委員会
- 2/24 東入間歯科衛生士会訪問歯科
- 2/25 防災委員会
- 2/27 ふじみ野市 運営指導

1. 1月・2月運営・現況報告について

★施設日記にて行事の紹介

- ・ 1月 お正月行事
おやつ作り（豆腐白玉お汁粉作り）
- ・ 2月 節分行事

★今後の予定として

- ・ 各ユニット行事
- ・ おやつ作り 外出（買い物）など
- ・ 3月行事 桃の節句
- 4月行事 お花見 外出

2. 委員会活動報告

安全対策委員会

★ヒヤリ事故報告

事故 件数： 1月 4件 ， 2月19日現在 2件

ヒヤリ件数： 1月 1件 ， 2月19日現在 0件

事故の内容では、居室のカーテンを閉めようとベッド越しに手を伸ばして前のめりとなりバランスを崩されて尻もちをついた方、また、リビングの食席からの立ち上がり後、歩こうとされてしっかり足が出なくて倒れてしまう方など、結果として重症には至りませんでした。今まではご自分で出来ていた事でも見守りや介助が必要になってきている事が分かりました。リビングには職員もいましたが、食事作りで手元に集中してしまい、見守りが不足してしまう等反省もありました。再発防止について、ADLの見直しを行い、その方の状態にあった生活環境の見直し、居室内のレイアウトの変更の必要性も検討し、職員間での情報の共有とご本人にも怪我のないように一緒に気を付けていきましようとお声掛けをするようにしています。

全体としてヒヤリハット報告が少ない為、気づきを早期に共有できるように様式の作成など検討するように話し合いをしています。

★身体拘束廃止の為の研修

「その声かけスピーチロック？」スピーチロックをテーマに研修を実施。

スピーチロックとは、言葉によって身体的、又は精神的な行動を抑制する事であり、言葉の拘束と言われている。フィジカルロック、ドラッグロックは拘束具や薬といった道具を使っでの身体拘束に対して、スピーチロックは言葉での拘束の為、誰でも簡単に出来てしまう恐れがあり、また、無意識で発している言葉が拘束となっている場合がある事。代表的な言葉として「ちょっと待っていてください」との言葉について、言われた側の気持ちになり、その言葉が持つ影響について考えました。相手に判断を委ねる言い方、利用者様の尊厳を守った言い方として「～して頂けますか？」語尾を言い換えるだけでも相手に伝わる印象が変わる事。言葉の拘束が虐待につながる不適切ケアという認識を今後も定期的な研修を通して、職員が自分の言動、ケアの見直しができるようにしていきたいと思ひます。身体拘束の廃止、虐待防止対策を引き続きつとめていきます。

★高齢者虐待について

「通報について」チラシ配布

施設内でも掲示し虐待の防止につとめていきます。また、在宅においても要介護者の方と介護者の方が安心して地域での生活ができるように、チラシを見て頂き介護で困った時、悩んだ時、または虐待が懸念される場合など、ふじみ野市への通報、相談をして欲しい事を知って頂ければと思います。

★「ハラスメントのない医療・介護現場を目指して」チラシ配布

ふじみ野市高齢福祉課・富士見市高齢福祉課・三芳町健康増進課より

ハラスメントを防止する事は医療・介護従事者が安心して働く事が出来る環境を作り離職を防ぎ、利用者がより良いサービスを継続して利用して頂けることにつながります。適切な利用にご理解とご協力をお願いいたします。

★ふじみ野市社会福祉協議会「つながる相談窓口」よりお知らせ

・社会福祉法人連絡会の取り組み

「パパママCAFÉ」 3月28日（土） 10時～11時

場所：スタバふじみ野清見店

4. 質疑応答

★ 高齢者あんしん相談センターおおい・村田氏

ふじみ野市の集団指導において、要介護者従事者等による高齢者虐待の内容で、通報5件、虐待認定2件の記載がありました。件数的には少ない印象でしたが、通報の義務があるという事が周知されているのかも気になりました。

★ 市役所代表 滝澤様

虐待については、閉鎖的な見えない所で起きている事がある為、言葉の暴力も含め、気になることがあれば早期段階で通報をして欲しいと思います。

★ 地域住民代表 奥平様

虐待については、言葉による虐待も重きを置いて考えていかなければならず、家庭でも起こりうる問題でもあったと思います。虐待防止、とても重要であり、大変な研修だと思います。その他で、お正月の祝い膳の食事内容について、品数も多く皆さん喜ばれたと思います。職員の方も大変だっと思います。

★ 地域住民代表 塩野様

いつも沢山の催しもので、利用者の方も楽しめている様子が分かりました。職員の方もやりがいを感じてそれが励みになっていると伺い安心しました。

★ ご家族代表 近藤様

いつもいろいろな行事で利用者の方を楽しませて頂きありがとうございます。認知症があっても楽しいなどの思いは残っていて、面会の時に話題として話したりしています。とても良い刺激になっている事を実感しています。

★理事長

高齢者の減少と施設申込み者の待機人数も減ってきている施設も多いと聞きますが、ふじみ野市の高齢化率の推移はどうですか？

⇒（市役所代表 滝澤様）

今後75歳以上の高齢者は増える方向です。ふじみ野市は埼玉県の中でも高齢者が多くなると認識しています。

次回の開催予定

場所： マザーアースサテライト 会議室 （令和8年 4月16日予定）